

JR東日本発電取水総合対策市民協議会要望書項目に対する取り組み状況

○＝ 対応済・対応中
 △＝ 検討中・協議中
 ●＝ 対応困難
 ↓

※令和5年度(前回の協議会以降)に新たな取組みのあった項目について着色あり

要望事項	JR東日本の回答	通し番号	これまでのJR東日本の対応	進捗状況	今後の要望等	
1. 飯山線・ほくほく線の活性化を図っていただきたい。	(1)飯山線及び接続路線に関して	①十日町駅と長岡駅間の直行便の増便及び新潟駅への直通通行	十日町ー長岡間の直通運転を検討する。	1	・H22.3～十日町ー長岡間直通運行の増便(→長岡駅乗り入れが朝2便に)	△ ・帰宅時間帯における長岡ー十日町間の直通運転増便 ・上越線との接続の改善 ・十日町ー新潟間の直通運転新設の3点について引き続き検討願う。
		②十日町駅を市の玄関口としてふさわしい設備	バリアフリー化、駅東西方向のスムーズな移動などの改善に努める。また自由通路の位置付けや人工地盤、情報発信機能、文化施設など駅周辺整備マスタープランを作成する。	2	・H22.4 飯山線の所管エリアを長野支社から新潟支社に変更 ・都市計画課等と協議の上、駅周辺の整備計画を検討 ・十日町駅の高架化について検討し、建設部と協議	△ ・十日町駅高架化を含む駅周辺整備について引き続き検討を願う。 ・大地の芸術祭の里のイメージにふさわしい駅舎改修の検討を願う。
			雪まつりに合わせたコンコース・待合室美化やペレットストーブを導入する。	3	・H28.12 2号ホーム待合室新築 ・H29.12 改札口自動ドア化 ・十日町駅待合室にデジタルサイネージ設置(宮中取水ダム・魚道観察室の案内動画に加え、十日町市、十日町市観光協会、十日町青年会議所の動画放映中 ・十日町市冬季PR動画の放映を追加 ・飛渡第一小学校環境学習ビデオ、新潟ふるさとCM大賞の動画追加 ・十日町駅事務室入口に「日本遺産 究極の雪国 とおかまち」の看板設置	○ 【取組みの継続】
		③十日町駅と森宮野原駅間に交換施設(行き違い施設)の設置	飯山線内の交換施設設置を引き続き検討する。	4	・交換施設設置については、列車本数増の要望と理解 ・リゾート列車の運行等、首都圏等からの誘客を実施し、飯山線をご利用されるお客さまの増加をめざす。お客さまのご利用が増えた場合、設備改良等、列車本数増について検討する。	△ ・飯山線までのアクセスの利便性向上、観光臨時列車の運行など乗客増加のための施策に取り組むとともに、引き続き交換施設設置の検討を願う。
		④長野・飯山ー十日町ー長岡の間に、ハイブリッドシステム搭載の新型リゾートトレイン及びSL(蒸気機関車)の導入	飯山線にハイブリッドリゾート列車を導入し観光路線としてPRする。	5	・H26.5～ 新潟が誇る「酒」をコンセプトとした新たなリゾート列車「越乃Shu * Kura」導入 ・H27.4～ おいこつとの運行開始 ・R1.5 「越乃Shu * Kura」運行開始5周年イベント実施 ・R3.3 「越乃Shu:Kura ONLINE」開催 ・越乃Shu*Kura乗客にお酒・料理情報が見れるカード配布 ・R3.7～8 越乃Shu*Kura車内放送による観光PR ・R3.9～11 十日町駅を中心としたスタンプラリー開催 ・R3.10～12 十日町市フットパスコースを「駅からハイキング」のコースに設定 ・R4.4～11 継続設定、R5.4～6継続設定 ・R3.10～12 「駅カード」の新潟エリアに十日町駅を追加 ・R3.10、11 びゅうバス商品設定「清津峡、美人林をめぐる里山美食旅」 ・R5.4～「越乃Shu*Kura」「おいこつと」継続運行、 ・「越乃Shu*Kura」沿線の駅や観光スポットを巡るデジタルスタンプラリー開催	○ 【取組みの継続】
			長野駅での新幹線・特急しなのへの接続等について関係者間で検討する。また十日町駅における長野方面と川口方面との乗継利便性の向上を引き続き検討する。	6	・「特急しなの」の半数以上で10分程度で乗り換えが可能 ・「スノーエクスプレス十日町号(長野ー十日町)」等の運行	○ 【取組みの継続】
			SL導入に対する、設備面の課題を克服するための調査・検討を進める。	7	・H24.11 「SL信濃川ロマン号(長岡ー十日町)」の運行 ・H28.1～ 飯山駅と長岡駅の間での平成28年秋の運行を目標に、1月からJR東日本と飯山線沿線地域活性化協議会との間で検討を開始 ・H28. 11 飯山・長岡間SLイベント運行	○ 飯山線全線の定期運行を願う。
		⑤その他	大地の芸術祭と連携を図る。	8	・H24 「リゾートビューアート号」「リゾートビュー大地の芸術祭号」「アートステーション号」「ほくほく大地の芸術祭号」の運行 ・H27.7～9 「大地の芸術祭スタート号」「大地の芸術祭ゆめぞら号」「大地の芸術祭ひまわり号」「大地の芸術祭ファイナル」の運行 ・H30.7～9 「大地の芸術祭号」の運行 ・R4.4～11 大地の芸術祭期間中、車両ラッピング、車内広告ジャックを施した車両1編成を新潟県内で運行	○ 【取組みの継続】
			飯山線駅周辺に芸術作品の制作・展示を行い、イメージを高め、観光誘客を図る。	9	・H24 越後田沢駅、下条駅に大地の芸術祭恒久作品を製作 ・H27 土市駅、越後水沢駅に大地の芸術祭恒久作品を製作 ・H30 十日町駅、魚沼中条駅に大地の芸術祭恒久作品を製作 ・H30 土市駅、越後水沢駅での大地の芸術祭恒久作品増設へ協力	○ 各駅舎の利用者用トイレの整備を願う。
		(2)ほくほく線の乗り入れに関して	北越急行株式会社と協議の上、利用状況等を勘案して、直通サービス等を検討する。	10	・H22～ ほくほく線への臨時列車乗入れ ・H24～ 「ほくほくぐるり一周号」の運行(ほくほく線一部乗入れ) ・H27.3 ダイヤ改正にあたり、普通列車は改正前と同様、「上越線」「信越線」への乗入れは維持。さらに超快速「スノーラビット」の増発 ・H28.3 ダイヤ改正にあたり、北越急行との調整の結果、超快速の増発や北陸新幹線、上越新幹線との接続改善等を実施 ・H31.3 ダイヤ改正により、朝時間帯の東京方面への所要時間を短縮	○ 【取組みの継続】 今後も北越急行の運行計画をふまえ、継続して対応を願う。

要望事項		JR東日本の回答	通し番号	これまでのJR東日本の対応	進捗状況	今後の要望等
2. 電源立地地域対策交付金対象地域の法改正に対する支援	(1)法改正への支援及び改正までの暫定措置	弊社など自営電力施設に対し同法を適用する法改正は、極めて困難と思われま。弊社として3. の地域振興策への支援など可能な施策を通じて地域の皆様に貢献させていただきたい。	11	・弊社としては、地元地域と信濃川発電所の共生に向け、十日町市をはじめ関係の方々のご意見も承りながら、引き続き地域振興策への支援など可能な施策を通じて地域の皆様に貢献させていただいているところ。 ・電源立地地域対策交付金に関して、将来的に弊社など自営電力施設に対し、いわゆる電源三法を適用する法改正が行われた暁には、弊社として法に基づき対応する所存。	●	法が改正された場合は即時対応することを確認(市・JR間で協議済み)
3. 地域振興策への支援	(1)交流人口増加に資する取り組み及び支援	雪まつり、大地の芸術祭等のイベントへの積極的な協賛・参加及び首都圏等における宣伝、旅行商品の展開を行う。	12	【雪まつり】(毎年の継続の取り組み) ・R6.2 雪まつり臨時列車「特急ほくほく十日町雪祭り」「十日町雪見おいこつ」と運行 ・R6.2 松之山温泉スキー場カーニバル～スノーアウトドアフェス～へ協賛 【大地の芸術祭】 R4.4～11 土市駅作品受付スタッフ参加(計57日間) ・R4.4～11 新潟県内、首都圏での広告展開 ・首都圏駅構内デジタルサイネージ・トレインチャンネル、トランヴェール7月号、駅貼りポスター、新潟支社内デジタルサイネージ・トレインチャンネル、新幹線内LED、越後湯沢駅装飾、新潟支社管内駅頭コーナー設置、各種Webサイト、駅たびコンシェルジュ ・経団連地域協創アクションプログラムの取組み(社員研修・社内レク等での大地の芸術祭活用) ・越後湯沢駅で「2023年の越後妻有JPR」 ・R5.9 新潟支社レクリエーション実施「大地の芸術祭関連スポットをめぐるコース」 ・R5.11 経団連オンライン説明会「文化芸術がもたらす地方創生～大地の芸術祭の取り組み～に関する説明会」で支援活動の紹介、取組み・実績を説明 ・JRエネルギー企画部の新入社員の研修に活用 ・R4.7、11 大宮駅デジタルサイネージでの十日町市日本遺産情報発信 ・R4.9個人型ワーケーション商品(ベルナティオ宿泊)販売開始 ・R4.4～9大河津分水通水100周年×JR信濃川発電所デジタルスタンプラリー開催(市内にスポット設置、観光PR) ・R5.7～8、11～12 大宮駅デジタルサイネージで情報発信(十日町市日本遺産関係、冬観光PRの映像放映) ・R5.12～ 首都圏での大型プロモーション実施(首都圏主要駅、成田エクスプレス車内でPR映像) ・ワーケーション商品の提供(個人、企業)	○	【取組みの継続と拡大】
	(2)地域経済に関する貢献	食材工場の進出を考えているが、市や関係者と相談しながら具体的な検討を進める。	13	・新潟、信州デスティネーションキャンペーンで十日町地区の宣伝強化・観光誘客 ・H30.10および11 農家レストラン列車を十日町駅まで延伸 ・H30.10～12 新潟県・庄内エリアデスティネーションキャンペーン開催 ・R1.10～12 新潟県・庄内エリアデスティネーションキャンペーン開催	○	【取組みの継続】
	(3)地元農産物の販売イベント等地域のPR活動への支援	魚沼コシヒカリ等の十日町の豊かな食材等の新聞や雑誌等を通じたPR、首都圏駅ビル等での販売を支援する。	14	・H26.9～ すこやかファクトリー(製造工場)本格稼働 ・R4.3 十日町産かぼちゃ(くりゆたか)と十日町産コシヒカリ米粉を使用した新商品「スイートカボチャ」を開発、首都圏の土産物店「HANAGATAYA」で販売開始 ・R4.9 田沢小学校、R5.2西小学校、工場見学 ・R4.10「まちの産業発見塾」への出展 ・R4.12十日町地域用クリスマスケーキ販売 ・R4.12 JRグループ法人向けギフトセット販売開始 ・R5.6～ すこやかファクトリーのリニューアル工事 ・「笹川流れの塩ブラウニー」を団体専用臨時列車「カシオペア紀行」へ提供、首都圏、JREMALL等で販売 ・「スイートカボチャ」を市内で販売開始 ・R5.12 クリスマスケーキ販売 ・Suicaのペンギン「米粉と豆乳チョコクリームケーキ」販売開始	○	【取組みの継続】 東京駅や企画列車などでの販売等、オリジナル商品の販路拡大に取り組み、常時雇用の従業員数を最大50人雇用することを願う。
4. 地域・各種団体要望に関して	(1)鉄道、発電施設の存置に起因する弊害について、関係地域、各種団体と誠意をもって協議し、問題解決にあたる。	地域関係 ①JR飯山線横断用排水施設の不備による、溢水被害及び維持管理に支障ある施設の改良	16	・五軒新田、水沢、四日町新田の管路拡大・改修・清掃実施 ・川治川橋梁付近、大黒沢地区等の側溝・管路清掃実施	○	【対応済】
	地域関係 ②ほ場内JR配電線ケーブルの撤去又は地中埋設(市道・農道・歩道予定地)	17	H27電線、電柱の撤去は終了。 残っていた高島大橋の道路下の埋設管路の撤去はH28.7に施工完了。 なお撤去箇所に変状がないことを後確認し、H28.11工事竣工	○	【対応済】	
	地域関係 ③浅河原調整池が存在するために、浅河原川・宮澤川・樽沢川が一級河川に指定されない不利益への対応	18	・新潟福島豪雨による浅河原川被災部分の復旧実施 ・流雪溝用水等については、地区と協議し、方向性を提示	△	市の今後の流雪溝網整備計画に合わせ、必要な流雪溝用水の確保の実行。	
	地域関係 ④宮中地区では放流等によって騒音や振動などの環境悪化が続いている。その緩和に向けての改善	19	・騒音測定実施済 ・取水トンネル入口付近で防音壁改修工事を実施	○	【対応済】	
	地域関係 ⑤宮中黄桜の丘に休憩場を兼ねた案内PR館設置	20	・黄桜の丘公園の整備は完了	○	【対応済】	
	地域関係 ⑥千手放水路に架設されている市道橋についての架け替えを支援	21	・市において県・地元を含めての全体計画をまとめてもらい、その中で協力する。 ・H27 友重道路橋の架け替え、千手道路橋撤去で合意。友重道路橋詳細設計 ・H28.11 友重道路橋新設部分の工事に着手 ・H30.10 友重道路橋新設部分完成 ・H30.11 伊友集落会主催により渡り初め、竣工祝賀会を実施 ・R1.5 旧友重道路橋、千手道路橋撤去施工完了	○	【対応済】	

要望事項		JR東日本の回答	通し番号	これまでのJR東日本の対応	進捗状況	今後の要望等
	地域関係 ⑦友重放水路の仮通路が違法建築物と指摘されていることもあり、その解決策として(仮)小根岸橋の建設を100%JRで実施		22	・H25.9 小根岸橋を設置	○	【対応済】
	十日町土地改良区 ①内島用水分を水利統合しJR補償用水エリアに編入、導水施設の新設及び現取水施設撤去、そして幹線用水路改修(L=810m)		23	・導水施設の改修及び維持管理を実施	○	【対応済】
	十日町土地改良区 ②Ⅰ・Ⅱ期水路トンネル掘削工事にもなう農業用水減水補償が全くない。地元ではため池・揚水機の新設などで対応(姿安養寺・吉田平場)している。		24	・JR東日本として国鉄時代の補償は不可能 ・水量不足対策としてかんがい用水施設の新設、ため池改修を実施	○	【対応済】
	十日町土地改良区 ③山谷用水(集水渠による伏流水取水)は信濃川の流量不足により許可水量の取水が出来ない。		25	・水源振替に係る事務的支援 ・揚水施設の改修及び維持管理 ・水量不足対策として深井戸の新設 ・H27 旧揚水機場等を撤去するためJR東日本と十日町改良区の間で準備中 ・H28.9 JR東日本と十日町土地改良区の間で撤去に関する協定を締結(旧揚水機場の撤去工事は十日町土地改良区で実施) ・H29.3 旧揚水機場の撤去完了	○	【対応済】
	十日町土地改良区 ④小泉用水(浅河原調整池から揚水)は毎日5時間程度減水により取水不能となっている。		26	・H24.5 西浅河原揚水所新設 ・揚水施設の改修及び維持管理 ・水量不足対策として深井戸の新設 ・不要となる既存施設の撤去	○	【対応済】
	十日町土地改良区 ⑤姿・安養寺地区では、ため池改修及び維持管理、農業用水水源確保		27	・水量不足対策として深井戸の新設 ・かんがい用水施設の新設 ・ため池改修及び維持管理	○	【対応済】
	十日町土地改良区 ⑥吉田北部地区では、山谷・小泉・樽沢地区の揚水施設統合新設維持管理と現施設撤去等		28	・H24.5 西浅河原揚水所新設 ・揚水施設の改修及び維持管理 ・不要となる既存施設の撤去	○	【対応済】
	十日町土地改良区 ⑦稲葉地区の中野堤改修及び維持管理等		29	・水量不足対策として深井戸の新設池改修を実施	○	【対応済】
	十日町土地改良区 ⑧吉田南部(南北鎧坂・高島)地区では、揚水施設新設維持管理等		30	・H24.5 西浅河原揚水所新設 ・揚水施設の改修及び維持管理	○	【対応済】
	十日町土地改良区 ⑨十日町下島及び中条地区では、補償用水送水暗渠施設地上権の再設定と法的に地上権設定が必要な箇所について、地上権の設定(導水路トンネルⅠ～Ⅴ期、補償用水送水管等)		31	・十日町かんがいの地上権の再設定について関係地権者と協議中(一部の方について協議継続)	○	【対応中】
			32	・H27 導水路トンネル部分について測量等を実施し、区分地上権の設定について関係地権者と協議中	○	【対応中】
	川西土地改良区 ①JR千手発電所放水路にある水管橋の代替施設の整備。JR施設内の施工はJRで負担。また既存施設を撤去		33	・パイプラインを整備 ・既存施設を撤去	○	【対応済】
	川西土地改良区 ②友重ポンプから揚水している農業用水の山腹水路が老朽化しており改修又は、水管橋の新設について地元調整を行い改善。小根岸ポンプも山腹側管路の法面崩落が懸念されているため改修		34	・水路・送水管の改修	○	【対応済】
	川西土地改良区 ③千手第1揚水場から中継ポンプ場への農業用水路及び消雪用水の余水が川西土地改良区管理の排水路に排出されコンクリート柱や壁が劣化しているため改修(約700m)		35	・改修に係る費用負担	○	【対応済】
	川西土地改良区 ④千手横坑及び取安横坑などの坑内のコンクリート壁にクラック等の修繕		36	・川西土改との覚書に基づく対応(技術的助言)	○	【対応済】
	川西土地改良区 ⑤第5期工事で大谷溜池への流入量が少なくなった。補償でのポンプだけでは足りず長福寺ダムから隧道を通過させ営農しているが、隧道の老朽化が激しく中に入れない状況。将来改修する際には修繕を支援		37	・第5期工事で補償済のため対応困難	●	5期工事分として補償済のため対応困難であることは了解済
	川西土地改良区 ⑥千手第1用水場から沖立・伊友地区への配水施設改修にあたり協力(用地・事業費等)		38	・川西土改で計画取り止めを決定	○	【対応済】

要望事項		JR東日本の回答	通し番号	これまでのJR東日本の対応	進捗状況	今後の要望等
		川西土地改良区 ⑦第3期・第4期工事による、上野・橋地区の減水対策	39	・ため池改修 ・排水管取り替え ・ポンプ更新での対応	○	【対応済】
		中里土地改良区 ①昭和44年清津川揚水機場ポンプ揚水の水利権取得に際し、減電補償として支払った一時金のうち農家負担分の返還	40	・農家負担分返還	○	【対応済】
		その他農業関係 ①遊休水利権となった上島・向島堰撤去についてJR東が協力するという約束の履行	41	・施設撤去に係る費用負担	○	【対応済】
		中魚沼漁業協同組合 ①一般の電力事業者が減水の影響により実施している漁業協同組合への支援	42	・施設改修への費用負担 ・稚魚放流は継続実施	○	【取組みの継続】
5. その他	(1)信濃川の水源確保と流雪溝網の拡大への支援	「市民協働の森」整備構想【十日町市民スキー場跡地周辺(約10ha)】に、弊社の「信濃川沿川の森づくり」の運動として参画します。	43	・H25.9 JR本社事業「信濃川ふるさとの森づくり」実施 ・「市民協働の森づくり」令和4年度で終了	○	【対応済】
		流雪溝網拡大については、関係の皆様のお話を伺いたいと考えていますが、信濃川からの取水の場合、新たな水利権取得が必要となり、極めて難しいと予想されます。	44	・流雪溝網の拡大について市と協議中。市の地区別の具体的な計画を受けて、可能な対応について今後、検討 ・H27.12 既設の流雪溝の供給時間の拡大を実施	△	市の今後の流雪溝網整備計画に合わせ、必要な流雪溝用水の確保の実行。
(2)信濃川の水が首都圏の鉄道動力源になっていることを、利用者に周知するとともに、地域に開かれ、親しまれる発電所づくり		信濃川の水が首都圏の鉄道動力源になっていることを、駅ポスター、車内吊りポスター等の鉄道広告媒体やテレビCM、新聞・雑誌広告等など、様々な広告媒体を使って首都圏等のお客さまにPRしていきます。	45	・信濃川およびJR東日本信濃川発電所PR「自然と地域が共生できる鉄道へ」 ・テレビCM、ポスター、トレインチャンネル、新聞・雑誌広告 ・H25.12～ なかさと清津スキー場での「信濃川ふるさとの森づくり」(H25.9)の様子をメインにした新たな環境CMを首都圏等で放映	○	【取組みの継続】
		信濃川発電所が地域に開かれたものとなるよう共生策を検討してまいります。	46	・宮中取水ダム放流量公開 ・放流量表示器の設置(5箇所)→第2揚水機場表示器改修「大型化」 ・自社ホームページ(PC・携帯)掲載 ・エフエムとおかまちでの情報提供(放流量・信濃川発電所情報) ・魚道観察室の情報発信強化(自社ホームページ(えきねっと)、他社ホームページ(JR西日本おでかけねっと、yahoo!)掲載 ・R4.10 宮中取水ダム・千手発電所設備見学会 ・R4.10 宮中取水ダムでのサケ遡上調査見学(飛渡第一小学校、田沢小学校) ・エフエムとおかまちで、魚道観察室開室、サケ、アユ遡上情報を放送(継続) ・R5.10 宮中取水ダム・千手発電所設備見学会 ・R5.10 サケトラップの設置、報道公開	○	【取組みの継続】
		宮中取水ダム周辺の設備改善(魚道見学施設、黄桜公園整備等)およびミオン中里と連携した新たな観光拠点整備	47	・宮中取水ダム魚道改築工事、魚道観察室の設置 ・サケの稚魚放流実施 ・宮中取水ダム周辺公園整備 ・黄桜の丘公園に安全柵設置、トイレ、ライトアップ設備、案内看板、ステージ等の整備を実施 ・H27 魚道観察室付近の公園整備に向け、借用していた土地の購入を計画していたが、中止。復田して返却 ・R2.10 宮中取水ダムイベント開催(サケの遡上観察、ダム見学、模擬店等) ・R3.3 サケ稚魚放流祭(貝野小学校課外授業) ・R4.3 サケ稚魚放流祭(田沢小学校) ・R5.3 サケ稚魚放流祭(田沢小学校) ・R6.3 サケ稚魚放流祭(田沢小学校)	△	「宮中ダム周辺整備基本計画」を基本に、宮中ダム周辺の公園施設等の再整備など可能な協力を願う。
(3)その他		JR千手発電所の一部を一般開放できる桜公園として整備および十日町駅から緑道を通じた一体の散策ルートとする新たな観光拠点整備	48	・千手発電所展望広場を桜開花時期に併せて一般開放 ・千手発電所、小千谷発電所一般公開 ・「駅からハイキング」商品化(十日町駅～緑道～千手発電所等) ・R2.11 千手発電所報道公開	○	【取組みの継続】
			49	・東日本鉄道文化財団地方文化事業支援 上川手歌舞伎保存伝承事業 新保広大寺節保存伝承事業	○	
			50	・土市駅ホーム通路のスロープ改修 ・五嶋龍ヴァイオリンリサイタルの開催	○	

要 望 事 項		JR東日本の回答	通し 番号	これまでのJR東日本の対応	進捗状 況	今後の要望等
				<ul style="list-style-type: none"> ・パネル展「自然と地域と共生できる鉄道へ」開催 ・信濃川みんなで川ごたくへの協力 ・宮中取水ダムでのイベント開催 ・飯山線等の運行情報の提供、新潟支社HPで在来線列車運行情報の提供 ・「公共空間クリーンアップパートナー事業」への参画 ・「十日町クリーン作戦」「十日町地域信濃川クリーン作戦」への参加 ・水辺の楽校 アレチウリ駆除参加 ・黄桜の丘桜まつり短歌会参加 ・十日町市内小学生授業「河川環境教育」への協力 ・「節黒城跡山開き祭」への参加 ・「清津ピクニックコンサート」への協力 ・「ツールド妻有」へのボランティア参加、開催記念イベントの協力 ・「平成25年度十日町市施設見学会」への協力 ・「越後妻有 雪花火」サポーターへの参加 ・「のっどれ！まつだい城」への参加 ・「全国植樹祭」への参加 ・清田山キャンプ場へチップ材加工の木材を譲渡 ・為永踏切改良工事 ・「ツールド妻有」への誘導案内スタッフ参加、すこやかファクトリーお菓子提供 ・R5.7 吉田中学校、鏡島小学校へ出前授業 ・株主発電所見学会の開催 ・大人の休日倶楽部会員へ十日町市のふるさと納税についてPR ・米国「トラベルメディア」で信濃川発電所の情報発信 ・ガタガタニイガタキャンペーンの賞品に松之山温泉の商品提供 		

○	42
△	6
●	2
50	